

カリキュラム区分		5カリ		シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	M103	1年	前期	看護学	選択	生涯教育学特論 Advanced Study of Lifelong Education for Specialist	30	2
担当教員								
野本 百合子	田中 美延里	仲渡 江美						
関連するDPキーワード（看護学専攻）								
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。							
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。							
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）								
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。							
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。							
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。							
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。							
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
授業目的								
〔野本・田中担当〕 成人に対し、効果的な教育を展開する知識を習得するために、成人を対象とする教育の基盤となる「成人教育学（Andragogy）」の知識や専門職者への教育に関連する知識を学習する。また、成人教育学や専門職教育の知識を活用して職場の現任教育の質を向上するために、自身の職場の人材育成や学生指導のあり方における課題について討議し、より良い教育を実現するための方法を検討する。								
〔仲渡担当〕 青年期以降の発達段階や発達課題、学習過程について、具体的かつ体系的に理解する。また、人間の学習行動とワークコミットメントとの関係、キャリア発達とメンタルヘルスについて、ディスカッションを交えながら展開し、理解を深める学びにつなげていく。								
到達目標（授業目標）								
〔野本百合子・田中美延里 担当〕								
① 「成人教育学」の定義や対象となる人々の特徴を踏まえた教育の考え方を説明できる。								
② 従来の「教育学」と「成人教育学」の相違点を説明できる。								
③ 成人教育学及び専門職者の教育に関する文献講読を通して、自らの職場の教育上の課題を特定できる。								
④ 自らの職場における教育上の課題について、学習した知識を用いて改善の方向性を提言できる。								
〔仲渡江美 担当〕								
① 青年期以降の発達の特徴と学習の仕方について、文献を通して習得できる。								
② ワークライフバランスや職業人としての精神的健康のあり方について、自らの考えを述べることができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								

授業概要	<p>授業の実施日程については、教員間の調整により下記の順に進まない場合がある。 最終的な授業日程は、教員と受講生が相談の上、決定する。</p> <p>〔野本百合子・田中美延里 担当内容〕</p> <p>①「成人教育学」の理解 - 「成人教育学」の考え方と対象の特徴について学習する（野本） ②専門職者に対する教育 - 専門職の特徴と人材育成及び現任教育のあり方について学習する（田中美） ③④「成人教育学」に関連した文献講読 - Malcolm S. Knowles著「成人教育の現代的実践」- 成人に対する教育を考える（野本・田中美） ⑤⑥「専門職者に対する教育」に関連した文献講読 Patricia Cranton著「おとなの学びを創る - 専門職の省察的実践をめざして」 - 所属組織等での教育を考える（野本・田中美） ⑦⑧「専門職者に対する教育」に関連した文献講読 松尾睦編著「医療プロフェッショナルの経験学習」- 医療職者の経験からの学びを考える（野本・田中美） ⑨専門職への教育の現状分析と改善策の検討（野本・田中美）</p> <p>〔仲渡江美 担当内容〕</p> <p>①人間の発達と学習発達理論の概観 ②青年期・成人期・老年期の発達と学習の特徴-発達心理学研究における論文の講読および発表を通して、青年期以降の発達と学習の特徴をつかむ ③学習観の変遷 - 学習心理学・認知心理学・状況的学習理論・協同学習の立場から人間の学習過程について学ぶ ④学習を支えるメカニズム - 自己効力感・メタ認知の事例から学ぶ ⑤職場の中での学習① - ワークコミットメント理論について ⑥職場の中での学習② - キャリア発達・職業教育とジェンダー・セクシャリティ</p>							
	成績評価方法及び基準							
発表課題レポート（50%）、プレゼンテーション・質疑応答（50%）で評価する。〔配点：野本・田中 担当内容70点 仲渡 担当内容：30点〕トータル60点以上を合格とする。								
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・ Malcom S. Knowles（堀薫夫他訳）：成人教育の現代的実践－ペダゴジーからアンドラゴジーへ、鳳書房 ・ Patricia Cranton（入江直子他訳）：おとなの学びを創る－専門職の省察的実践をめざして、鳳書房 ・ 松尾睦編：医療プロフェッショナルの経験学習、同文館出版 							
参考図書等	適宜紹介する							
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）								
文献講読に関しては、受講生が担当部分を決定し、担当箇所の内容をまとめてレポートとして提出するとともに、授業時間内でその内容をプレゼンテーションし、質疑応答に対応する。そのため、事前に指定された文献の担当箇所を精読してレポートを作成、提出するとともに、その内容を理解するために必要な文献を追加して確認する必要がある。								
関連科目								
前科目								
後科目	専門科目すべて							
実務家教員								
看護師（医療機関）	野本 百合子							
保健師（行政機関）	田中 美延里							
備考								